

令和3年度 第3回総合計画審議会（書面協議）におけるご意見

1 協議内容

- (1) 基本構想の将来構想ページについて（資料1）
- (2) 基本構想・基本計画の体系について（資料2）
- (3) 基本計画における施策ページについて「政策目標：安全・安心」（資料3）
- (4) 基本計画における施策ページについて「政策目標：都市基盤・環境」（資料4）

2 協議日程

- (1) 協議資料送付日：令和3年9月10日（金）
- (2) 回答期限：令和3年9月21日（火）

3 ご意見

・基本理念について

基本理念「安全・安心」「魅力」「対話・学び」を文字にしたときの全体のバランスや、魅力をどう伝えるかを考慮し、「安全・安心」「魅力・発信」「対話・学び」がよいのではないかと。

・資料1 7ページ ①情報発信について

4行目 情報発信を行っていくにあたり、行政だけでなく、市民も積極的に情報発信をしていくべきであるが、その発信方法の手段等について十分に検討する必要がある。

・資料1 7ページ ②歴史・観光について

一段落目末の「関係人口の増加を目指します」は最終段落の末尾あたりにもっていった方がよろしいか。今回、単に「文化財を保存し教育に活かす」だけでなく、「文化資源」としても観光にも活用する方向性を打ち出したことは評価できるが、重要なことは「過去に、茨城県史や石岡市史などで明らかにされた情報だけでなく、新たな歴史情報を見つけていくこと」である。「歴史の魅力をさらに探求し」て「新たな情報として発信」することが、観光振興の前提になる。

（一段落目の記載例）

本市には、古くから常陸国の中心として栄え、古墳時代には東日本第2位の大きさを誇る「舟塚山古墳」をはじめとする古墳群が造られ、奈良時代には常陸国の政庁である国府と国分寺・国分尼寺がおかれました。その後も商工業の要として繁栄した歴史があり、数多くの史跡・文化財があります。これらを保存するだけでなく、その魅力をさらに探求し、文化資源として、教育・観光に活かしていきます。

・総合計画があるということを住民や職員全体がしっかり理解できるよう仕組みをつくるのが重要。

- ・現状と今後の計画実施状況が、市民にわかるようにしていただきたい。実現できる計画作りが重要。
- ・基本構想基本計画等、内容がよくまとまっている。
- ・実効性のある施策に集約願う。
- ・資料1) 石岡市のまちづくりの方向性(将来構想), 2. 施策の大綱について
文章がまわりくどい。主語と述語, 理由, 説明の関係を見直してほしい。 不必要な言葉の重複を避けるように。
- ・資料1 P10 産業・経済
3行目「新たな企業の誘致」について, 企業誘致へ向けての柏原工業団地等の環境整備が必要。(工業用水の問題等。料金も含めて)
- ・資料3 P2 消防・救急体制の充実 施策ページ
「ベテラン職員の大量退職により・・・」ベテラン職員を再雇用し, 若手への教育やバイスタンダーの実技講習等に携わっていく。一般の方で, 救命手当を適切にできる人を一人でも多く増やすことが重要。
- ・資料3 P6 防災機能の整備・強化 施策ページ
本市は震度6強という大きな被害が予想されている。自助ということで, 各家庭における水・食事・生活用品などにおいて, 日頃の「ローリング備蓄」を強く推奨していくべき。
- ・資料3 P10 防災危機管理の充実
防災協定の締結数という指標について, 既に締結してある具体的な内容を開示してさらなる応援協定の締結数増加につなげることも必要ではないか。